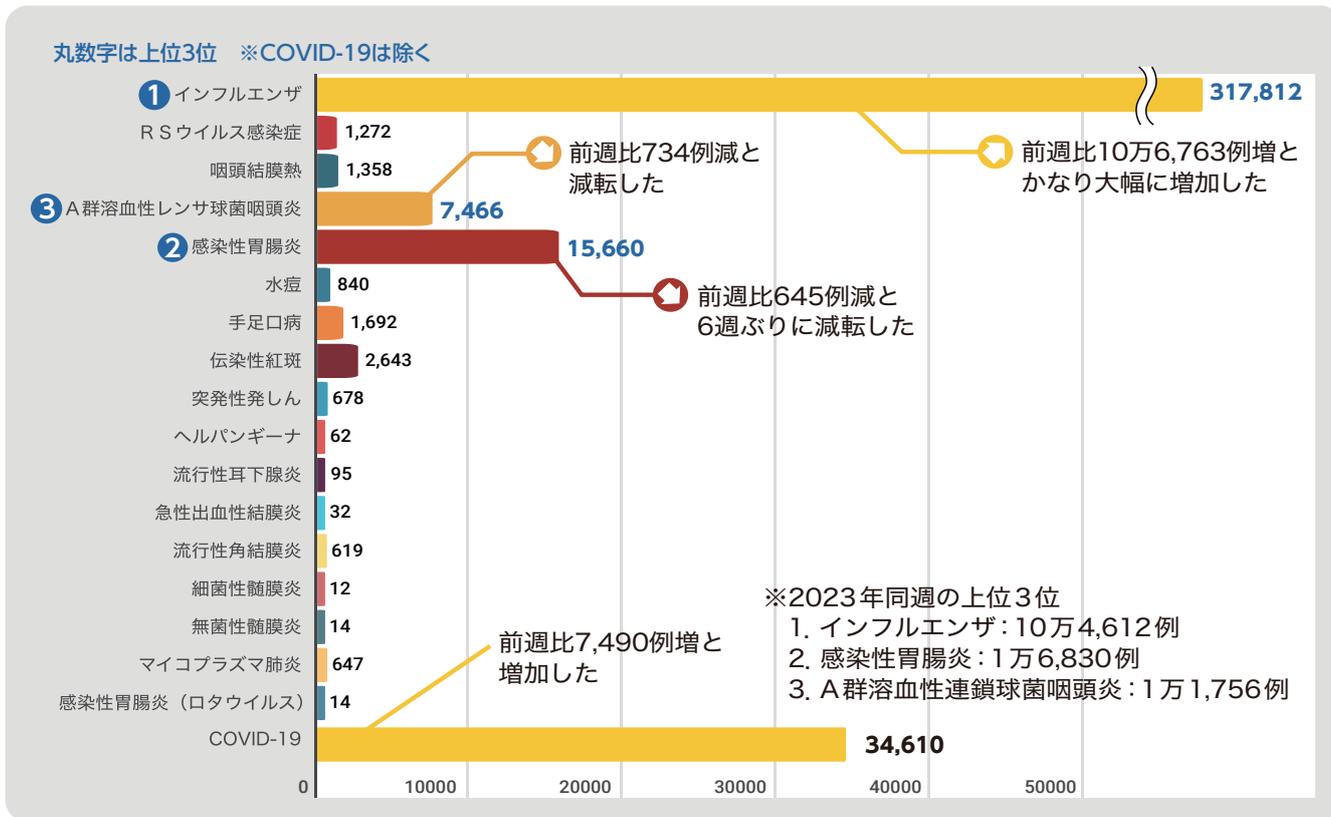




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル過去最多の31万例超、定点報告は64.39



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

- 神奈川県: 2万3,869例
- 東京都: 2万3,625例
- 大阪府: 2万596例

定点当たりの報告数(64.39)

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. 大分県: 104.84 | 4. 熊本県: 92.56 | 7. 愛媛県: 85.02 | 10. 福岡県: 80.94 |
| 2. 鹿児島県: 96.40 | 5. 宮崎県: 90.24 | 8. 愛知県: 82.35 | 11. 千葉県: 78.52 |
| 3. 佐賀県: 94.36 | 6. 山梨県: 87.15 | 9. 長崎県: 82.27 | 12. 埼玉県: 76.56 |

※その他、31都道府県が警報基準値(30.00)超え

②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 1,747例
- 神奈川県: 1,164例
- 大阪府: 1,001例

定点当たりの報告数(5.00)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 12.89 | 4. 富山県: 9.10 | 7. 東京都: 6.62 | 10. 福岡県: 6.16 |
| 2. 福井県: 9.96 | 5. 宮崎県: 8.11 | 8. 秋田県: 6.53 | 11. 熊本県: 5.82 |
| 3. 石川県: 9.34 | 6. 群馬県: 7.38 | 9. 兵庫県: 6.18 | 12. 佐賀県: 5.57 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 北海道: 681例
- 東京都: 659例
- 茨城県: 502例

定点当たりの報告数(2.38)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 6.69 | 4. 富山県: 4.69 | 7. 山形県: 3.75 | 10. 愛媛県: 3.36 |
| 2. 北海道: 4.97 | 5. 新潟県: 4.18 | 8. 大分県: 3.53 | 11. 鳥取県: 3.32 |
| 3. 宮崎県: 4.89 | 6. 山口県: 3.93 | 9. 長崎県: 3.43 | 12. 千葉県: 3.30 |

今週の感染症動向

インフルエンザの感染拡大が止まらない。報告数は31万7,812例となり、定点当たり報告数は64.39と警報レベル(30.00)の倍以上の数値を記録。現在の集計方法を開始した1999年以降で過去最多となった。地域別に見ると43都道府県が警報レベルにあり、最多は大分県(104.84)。以降は鹿児島県(96.40)、佐賀県(94.36)、熊本県(92.56)、宮崎県(90.24)と続いており、特に九州での感染者が多い状況だ。感染性胃腸炎とA群溶血性連鎖球菌咽頭炎はともに減少した。伝染性紅斑は433例減少したものの、青森県(2.86)、埼玉県(2.74)、東京都(2.44)が警報レベル(2.00)にある。マイコプラズマ肺炎は82例減少した。COVID-19は5週連続で大幅に増加し、3万例を超えた。定点当たりの報告数は北海道(16.80)が最も多かった。2024年の最終週報はインフルエンザの爆発的な感染拡大で締めくくられた。今後の動向についても推移を注意深く観察したい。